# 令和８年度 新潟県精神保健福祉士協会 全体研修会　実施要領

1. テーマ

・　入院者訪問支援事業の理念から考えるソーシャルワーク

～声をきく、扉をひらく、社会をかえる～

2. 目的

・　精神保健福祉士の権利支援・権利擁護力の強化:

閉鎖性の高い精神科医療現場や地域生活支援の現場において、患者・利用者の自己決定権の尊重やアドボカシー（代弁・権利擁護）の重要性を改めて認識し、実践知を深める。

・　入院者訪問支援事業等への理解と外部連携:

近年制度化が進む入院者訪問支援事業や、当事者・市民活動の視点に触れることで、精神保健福祉士としての関わりを見つめ直し、外部機関や地域との協働のあり方を学ぶ。

・　日々の実践におけるジレンマの共有と省察（リフレクション）:

医療においては「治療の必要性」と「権利擁護」の狭間で葛藤する精神保健福祉士の実践、地域においても本人のニーズなどからの葛藤などを持ち寄り、職能団体としてのネットワークの中で相互に学び合える環境を作る。

3. 実施主体

新潟県精神保健福祉士協会

4. 後援（予定）

新潟県社会福祉士会、新潟県医療ソーシャルワーカー協会、新潟県弁護士会

5. 開催日時及び場所

・　日時：令和８年12月13日(日)　13:00 ～ 16:50

・　場所：新潟テルサ　中会議室（2階）

〒950-1141　新潟市中央区鐘木185-18

6. 定員

50名

7. 対象者（参加費）

- 新潟県精神保健福祉士協会 会員　及び 後援団体（無料）
- 非会員（1,000 円）

8. 日程

13:00　受付開始
13:30　開会挨拶・オリエンテーション
開催趣旨説明、講師紹介
13:40　講義（90 分）「入院者訪問支援事業の理念から考えるソーシャルワーク
～声をきく、扉をひらく、社会をかえる～」
講師： 上坂 紗絵子 氏（佛教大学 専門職キャリアサポートセンター 特別任用巡回講師）
前半講義 40 分
休憩 10 分
後半講義 40 分
15:10　休憩 & 質問用紙回収（10 分）
15:20　質疑応答タイム（20 分）
講義内容に関する質疑応答
15:40　リフレクションタイム「ソーシャルワーク実践の中での権利支援とジレンマ」（45 分）
日々の実践における権利擁護の悩みやジレンマを振り返る。
（当会理事・役員がファシリテーターを担当します）
16:25　全体発表・まとめ（15 分）
ファシリテーターが発表してグループや全体の意見を共有・総括する。
16:40　閉会・諸連絡

9. 申し込み方法

Google フォームにおけるオンライン申請

10. その他

- 案内については後日、送付いたします。